

アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2003年8月26日

2003年8月24日現在：

前々週は好天続きで小麦の収穫が順調に進捗した。8月24日に終わる週に全州で降雨が記録された。降水量は北部地区にて0.16~0.98インチ、南西地区ではTrace~0.38インチであった。気温は平年を上回って推移した。前週の州平均農作業日数は6.6日（前週：6.9日）であった。土壌水分は多少前週より落ちた。冬小麦の収穫は順調に進行した。8月24日現在全州の94%で収穫が終了し、昨年並びに5年平均より早い進捗である。品質サーベアの結果によれば、北部地区のソフト小麦の容積中は、平均59.61b/bu、1000粒重は29.7gと他の地区より低い数値が報告された。蛋白質（水分12%ベース）は7.5~11.6%平均9.1%と発表された。

春小麦の収穫も平年より早い進捗を示した。出穂後の高温・乾燥条件が成熟を早めた。全州の62%の春小麦が収穫された（昨年：57%、平年：54%）。

8月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では別表の通り。冬小麦の単位収量は7月1日予想と変わらず82.0 bushels/acreであったが、春小麦の単位収量は3bu/a落ち63.0bu/acreとなった。高温・乾燥が単収を落とす結果となった。

Topsoil 土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	33	46	21	0
Last week (%)	35	43	22	0

灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	16	22	36	25	1

小麦進捗状況：8月24日現在

	North			S. W.			S. Cent.			State		
	8/24	A	Ave	8/24	A	Ave	8/24	A	Ave	8/24	A	Ave
Spring Wheat Harvested (%)	54	41	42	100	100	96	75	74	75	62	57	54
Winter Wheat Harvested (%)	89	77	77	100	100	99	100	99	97	94	85	84

A:2002年同期。 Ave:5年平均

Source：Idaho Agricultural Statistics Service

8月1日付け農務省発表小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				July 1	Aug 1		
Winter	690	720	79.0	82.0	82.0	54,510	59,040
Spring	510	460	65.0	66.0	63.0	33,150	28,980

当該作柄レポートへのご質問は下記宛てにお願い致します。

小川正晃 : E-mail ogawa.max@omicnet.com